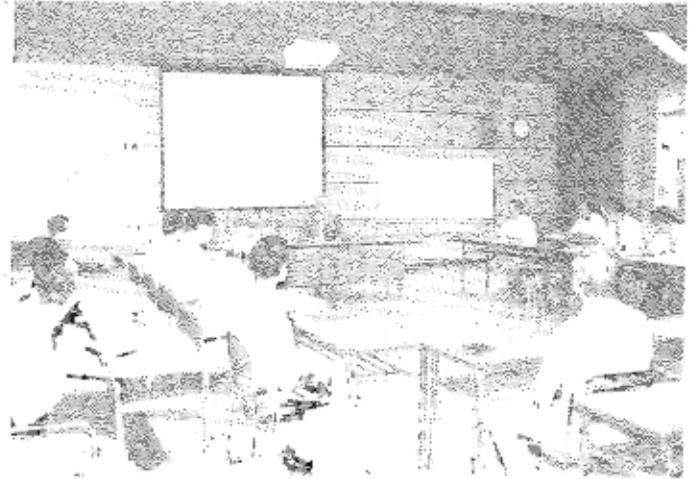


## ★ 生涯学習県民大学の開講

平成8年度生涯学習県民大学の「知って得するくらしの科学」講座を、今年も7月22日から8月9日まで3週間にわたり、当センターで開講しました。受講生は隼人町・始良町などから32名の参加がありました。

今回の講座では、外部講師7名による「楽しくなる小物入れ製作」、「ガーナの人々の生き方に学ぶ」、「焼酎の源流を探る」、「私から見た薩摩焼き」、「電話アラカルト」、「やさしい自動車のはなし」、「木の再発見」、所内講師7名による、「異国の技術文化を見る」、「発酵食品のいろいろ」、「しろありのはなし」、「シラスパルーンのはなし」、「暮らしの中の光」、「ピナ

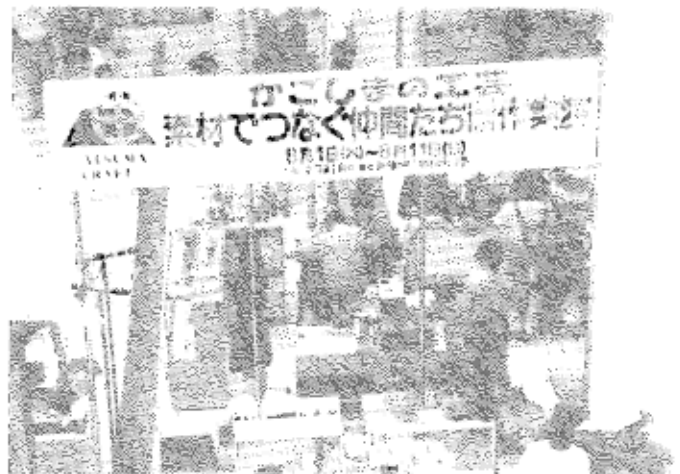
ツボ火山の噴火・その後」、「くらしと水」の14科目について講義や実技が行われました。



## ★ 鹿児島ハイテク研究会の紹介

さつま工芸会が8月1日から11日まで、鹿児島空港2階ロビーで鹿児島の工芸品を集めた「素材でつなぐ仲間たちの制作実演」と題して展示会を開催しました。会場では屋久杉製品、薩摩彫金、薩摩切子、薩摩焼、大島紬、薩摩塗りなど9会員が製品の展示や実演を行いました。

平成4年度から運営している鹿児島ハイテク研究会ですが、今年度から「和紙研究会」（会長：野田和信、会員12名）「WINDOWSプログラミング研究会」（会長：會田和義、会員14名）が新たに加わり9つの研究会が活動しています。



## ★ 地域学術振興賞の受賞



木材工業部の遠矢良太郎部長が日本木材学会から地域学術振興賞を受賞しました。この賞は、木材の研究により地域の学術発展と産業界に対する研究成果の普及の業績を認めた研究者に木材学会が授与するものです。

今回の受賞は、本県スギ材の有効利用やチップ材であった南九州特有の広葉樹材の有効利用など

の課題について、強度的性質、加工、接着などの分野をとおした用途開発を進め、木材の有効利用、実用化の推進と成果の普及を通じて、地域木材産業の技術力向上と新製品開発並びに起業化への支援を行ってきたことや、地域の産学官の研究会組織であるかごしまウッディテックフォーラム幹事、日本木材学会九州支部評議員、日本木材加工技術協会九州支部評議員として、地域の技術と学術発展のため活動してきたことが評価されたものです。